

活動名	登山（日暮ヶ岳コース）				
概要	日暮ヶ岳は標高694mあり，自然の家から約2.3kmの道のりで約330mの高さを登ります。山の周辺には，多目的ダムの大原湖，長者ヶ原火山台地，滑山国有林など多彩な自然を見ることができます。				
時期	通年（積雪時は不可）	所要時間	2～3時間	人数	300人程度まで
活動の持つ効果(特質)	①自然の中で仲間と楽しみながら親睦を深める。 ②観察をとおして自然に親しむ。 ③グループとはどうあるべきか，個人としての関わり方に気づく。 ④個人での活動をとおして自分自身と向き合う。				
準備物	青少年自然の家で貸し出すもの		団体・個人で準備するもの		
	①登山用地図 ②熊よけ用ベル ③無線機（連絡用）		<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 雨具（カッパが望ましい） <input type="checkbox"/> 救急用品 <input type="checkbox"/> 虫除けスプレー		
手順	①活動の30分前までに，団体の担当者と自然の家職員との打合せを行います。 ②自然の家職員または引率者から活動に関する諸注意を行います。 （注意事項，携行品，所要時間，目標・観察ポイント，トイレ，休憩の取り方等の確認）				
留意点	①事前に登山ルートの確認をしてください。 ②荒天時の判断は，参加者の実態やその後の活動などを考えて団体で決定してください。 ③緊急時の体制を確認しておきましょう。（緊急時には，登山口まで車が入ります。）				
活動例	【標準コース】 約60分 自然の家 → 登山口 → 見晴らしの丘 → 山頂 (10分) (30分) (20分)				

体験活動

ガイドブック

プログラム企画・活動参考資料

野外活動ガイド

屋内活動ガイド

自然の家外施設ガイド

低学年向け活動ガイド

日暮ヶ岳(ひぐれがだけ) 標高693.2m

○名前の由来
この山のふもとにあった「日暮」という集落の名前に由来します。この集落は、山の谷間にあって昼間でも陽が差さず夕暮れどきのように薄暗かったためこの名がついたと伝えられています。

○山頂の大穴
山頂には、大人が4~5人入れる大きな穴が掘られています。これは、太平洋戦争中、飛んでくる敵の飛行機を探すために作られた監視所の跡です。

○山頂からの眺め
南から西にかけての眺めが良く、防府の大平山や右田ヶ岳、山口の鳳翔山や蕎麦ヶ岳などが一望できます。

<注意>
こちらの登山道は十分に整備されておらず、自然の家での活動には利用されいません。途中には急なガレ場、倒木、ヤブなどがあるので、注意して通行してください。

アップダウン多い。一部ロープあり。
約20分

休憩に適した広場。
「山頂まで750m」の標識。
登山道が分岐しており、下山時に間違えないよう注意。

急な上りと階段が続く。

「山頂まで1100m」の標識あり。
ここでちょっと一息。

車道脇の舗装路から登山道へ向かう。(入口に案内板あり)
※一般車はこの先 通行禁止。

東屋と登山案内板あり。
ここから登山道へ。

国立山口徳地青少年自然の家
TEL 0835-56-0111
ご希望により熊よけ鈴、無線機等を貸し出しますので、入山前に事務室へお立ち寄りください。

日暮ヶ岳登山道
自然の家からの標高差・・・約330m
自然の家からの距離・・・約2.3km
登山所要時間(往復コース)
・・・上り 約60分/下り 約50分



登山口下にあるバイオトイレ



登山口の案内板
(「やすらぎの森整備事業」で設置)



登山口の東屋
(「やすらぎの森整備事業」で設置)